

# 平成 30 年度北海道原子力防災訓練の実施結果について

## 1. 訓練日時

平成 30 年 10 月 22 日（月） 9 : 00～15 : 30

## 2. 主催

北海道、泊村、共和町、岩内町、神恵内村、寿都町、蘭越町、ニセコ町、倶知安町、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村（道及び 13 町村）

## 3. 参加機関

原子力防災に関する連絡会議参加自治体、陸上自衛隊北部方面隊、第一管区海上保安部、北海道開発局、札幌管区气象台、北海道警察、消防機関、(公社)北海道トラック協会、(一社)北海道バス協会、(一社)北海道建設業協会ほか（390 機関、3,365 人）

## 4. 訓練想定

後志地方に台風が接近し上陸する中、運転中の泊発電所 3 号機において、何らかの故障等により冷却機能を喪失。その後、炉心が損傷し、放射性物質の放出に至る。

## 5. 訓練結果（主なもの）

項目	主な内容																																			
■ オフサイトセンター運営訓練	○ 国、道、町村等の要員が参集し、オフサイトセンターで機能班活動等を実施（40 機関、216 人）																																			
■ 災害対策本部等運営訓練	○ 道、町村の災害対策本部員会議を開催																																			
■ 住民避難訓練 参加人数合計 10,777 人 （ ・避難 748 人 ・屋内退避 10,029 人 ） （※）：UPZ の屋内退避及び独自訓練（泊村、岩内町、寿都町及び余市町）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>町村名</th> <th>避難者数（屋内退避者数）</th> <th>避難方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">PAZ</td> <td>泊村</td> <td>169（95）</td> <td>バス 6 台、福祉車両 3 台、普通車両 6 台</td> </tr> <tr> <td>共和町</td> <td>114（62）</td> <td>バス 5 台、福祉車両 1 台、</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">UPZ</td> <td>共和町</td> <td>11（501）</td> <td>バス 1 台</td> </tr> <tr> <td>ニセコ町</td> <td>48（487）</td> <td>バス 2 台、普通車両 1 台</td> </tr> <tr> <td>倶知安町</td> <td>90（2,434）</td> <td>バス 4 台、普通車両 1 台</td> </tr> <tr> <td>仁木町</td> <td>74（333）</td> <td>バス 4 台、福祉車両 1 台、ヘリコプター 1 機、装甲車 2 台、巡視艇 1 隻</td> </tr> <tr> <td>赤井川村</td> <td>112（105）</td> <td>バス 4 台</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他（※）</td> <td>130（6,012）</td> <td>バス 7 台、福祉車両 3 台、普通車両 2 台</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>748（10,029）</td> <td>バス 33 台、福祉車両 8 台、普通車両 10 台、ヘリコプター 1 機、装甲車 2 台、巡視艇 1 隻</td> </tr> </tbody> </table>	区分	町村名	避難者数（屋内退避者数）	避難方法	PAZ	泊村	169（95）	バス 6 台、福祉車両 3 台、普通車両 6 台	共和町	114（62）	バス 5 台、福祉車両 1 台、	UPZ	共和町	11（501）	バス 1 台	ニセコ町	48（487）	バス 2 台、普通車両 1 台	倶知安町	90（2,434）	バス 4 台、普通車両 1 台	仁木町	74（333）	バス 4 台、福祉車両 1 台、ヘリコプター 1 機、装甲車 2 台、巡視艇 1 隻	赤井川村	112（105）	バス 4 台		その他（※）	130（6,012）	バス 7 台、福祉車両 3 台、普通車両 2 台	合計		748（10,029）	バス 33 台、福祉車両 8 台、普通車両 10 台、ヘリコプター 1 機、装甲車 2 台、巡視艇 1 隻
区分	町村名	避難者数（屋内退避者数）	避難方法																																	
PAZ	泊村	169（95）	バス 6 台、福祉車両 3 台、普通車両 6 台																																	
	共和町	114（62）	バス 5 台、福祉車両 1 台、																																	
UPZ	共和町	11（501）	バス 1 台																																	
	ニセコ町	48（487）	バス 2 台、普通車両 1 台																																	
	倶知安町	90（2,434）	バス 4 台、普通車両 1 台																																	
	仁木町	74（333）	バス 4 台、福祉車両 1 台、ヘリコプター 1 機、装甲車 2 台、巡視艇 1 隻																																	
	赤井川村	112（105）	バス 4 台																																	
	その他（※）	130（6,012）	バス 7 台、福祉車両 3 台、普通車両 2 台																																	
合計		748（10,029）	バス 33 台、福祉車両 8 台、普通車両 10 台、ヘリコプター 1 機、装甲車 2 台、巡視艇 1 隻																																	
複合災害を想定した避難	○ 台風による避難指示に伴う避難所の開設及び屋内退避（ニセコ町） ○ 実動機関による孤立集落からの住民避難の支援の多重化（仁木町） ○ 避難道路の啓開（共和町）																																			
要配慮者避難	○ 在宅要配慮者の放射線防護施設への屋内退避（4 施設 14 人） ○ 避難訓練の実施（学校 5 校 303 人、福祉施設 12 施設 111 人）																																			
観光客避難	○ 外国人観光客等の宿泊施設からの避難誘導（ニセコ町、倶知安町）																																			
住民広報	○ エリアメールによる住民広報 ○ コミュニティ FM を活用した住民広報（ニセコ町）																																			
一時滞在場所	○ 避難受入自治体において一時滞在場所を設置（札幌市、留寿都村、洞爺湖町、赤井川村、登別市）。振興局職員が運営支援（札幌市、登別市）。																																			
道路渋滞対策	○ 渋滞予測箇所における迂回路誘導（共和町、倶知安町） ○ 道路情報板を活用した交通広報（共和町、赤井川村）																																			
■ 原子力災害医療活動訓練	○ 天候回復を待つ間の PAZ での安定ヨウ素剤（模擬）の緊急戸別配布（共和町） ○ 安定ヨウ素剤（模擬）の緊急配布（共和町、ニセコ町、倶知安町、仁木町、赤井川村、岩内町。199 人） ○ 避難退域時検査及び簡易除染の実施（2 か所、車両検査 20 台、住民検査 54 人） ○ 傷病者搬送・受入訓練（岩内協会病院、札幌医科大学附属病院）																																			

## 6. 今後の対応

訓練に参加した住民の方々に対するアンケート調査、防災関係機関に対する事後調査等を通じて課題等を整理し、訓練報告書を取りまとめるとともに、今後の訓練や防災対策に反映していく。